



橋北中学校だより

令和8年7月17日(金)

第4号 文責:奥田

津市立橋北中学校

1学期の締めくくりに寄せて 「気づき・考え・行動する」軌跡

72日間の1学期が幕を閉じようとしています。全校生徒505名でスタートした令和8年度、「気づき・考え・行動する」を合言葉に、生徒たちは日々、確かな成長の足跡を残してきました。5月の体育祭では、「全員主役」のテーマのもと、雨による急なプログラム変更にも生徒たちがてきぱきと動き、自ら考え主体的に運営する姿が見られました。学年を越えて励まし合い、肩をたたき合う光景は、本校に根づく支え合いの文化を象徴するものでした。



また、本校が教育の柱の一つとして取り組んできた「探究的な学習」は、生徒たちの中に着実な変化をもたらしています。予測困難な未来と言われる現代において、自ら問いを立て、仲間と協働して課題を解決する力は不可欠です。今学期の各学年の活動を振り返ってみたいと思います。

3年生:沖縄修学旅行で深めた「共感」と「平和への誓い」



6月の沖縄修学旅行では、予報を超える激しい雨に見舞われましたが、それもまた沖縄の自然を肌で感じる貴重な体験となりました。ひめゆり平和祈念資料館では、雨音の中で平和宣言を読み上げ、全校生徒の思いを込めた千羽鶴を献納しました。また、暗闇の「ガマ」での体験や、戦後81年を迎える語り部の方の熱い講話を通じ、

過去の出来事を自分事として捉え、熱心にメモを取る姿が印象的でした。最終日の国際通りでのグループ別学習を含め、仲間との絆を深めながら、未来を創造する力を養った3日間でした。

2年生:地域と共に未来を創る「上ノ村プロジェクト」の深化



白山町上ノ村でのプロジェクトは3年目を迎え、今年は「体験」から「提案」へとステップアップしています。5月の田植えと地域散策では、単に作業をするだけでなく、地域の方々の生き方に触れ、「持続可能な地域にするために自分たちができることは何か」という問いのヒントを探しました。

1年生:自覚と問いを立てる力を養った「MieMu 見学・避難訓練」



1年生は、南海トラフ地震を想定し、二次避難所である県総合文化センターまでの長い道のりを確認する避難訓練を行いました。暑さの中、列を乱さず歩く姿に中学生としての自覚が感じられました。その後の県立博物館 MieMu での見学では、「三重県の人口減少を食い止めるには」といった高度なテーマを掲げ、自ら問いを立てて

資料を読み解く探究学習の第一歩を刻みました。

また、地域の方からは、本校生徒が高齢の方を介抱したという温かい報告も届きました。授業での学び合いや探究学習をとおして「誰かのために」という思いが学校の外でも実践に結びついてきていることを大変嬉しく思います。

命の尊さを語り継ぐ 71年目の「慰霊の日」を迎えて

昭和30年(1955年)7月28日、本校の水泳訓練中に36名の尊い命が失われた水難事故から、今年で71年目を迎えます。当時、学校にプールがなかったため、近隣の海で行われていた訓練中に突然の異常な波が教え子たちを襲いました。この悲しい出来事を決して風化させてはならないという決意のもと、本校では毎年7月28日を「慰霊の日」と定め、慰霊碑「海の守り」にて追悼を行っています。



私たちが普段歌っている校歌は、この事故の直後、心に傷を負った生徒たちを励ますために制定されたものです。特に2番の歌詞には、苦難を乗り越え、友情を大切にしようという強い願いが込められています。

今年度も、生徒代表やPTA役員とともに清掃と献花を行い、命の尊さに改めて思いを寄せたいと思います。また、夏休みを前に、津市中消防署の講師による水難事故防止教室も開催し、安全への意識を高めました。私たちはこの歴史を語り継ぎ、生徒一人ひとりが「かけがえのない命」を大切に守り抜く力を身につけてほしいと願っています。

作詞 樋田 清砂 作曲 伊東 功

眉あげ行手見遥かす
希望はもえて若き血に
幸あれここに我等つどう
かすむ山なみ経ヶ峰
ああ橋北のわが理想
揺がぬ心胸張りて
力みなぎる苦難にも
幸あれここに我等つどう
磯波砕く安濃の浦
ああ橋北のわが決意
誓いもかたく手を取りて
誠は通う友情に
幸あれここに我等つどう
流れ尽きせぬ塔世川
ああ橋北のわが誇り

夏休み、そして2学期へ

明日から44日間の夏休みが始まります。1学期に「できたこと」を自信としてさらに伸ばし、見えてきた課題については「どう克服するか」を自ら考え、自分なりの目標を立てて実行してみてください。

予測困難な未来を生きる皆さんに求められるのは、課題を自分事として捉え、仲間と協働して解決していく力です。この夏、部活動や地域での活動を通して、学校で培った探究の視点を実践し、さらに大きく成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

そして何よりも大切にしてほしいのは健康と安全です。休養をとりつつ、毎日を安全に過ごしてください。健康管理や登下校時の交通安全にも十分に注意し、元気に2学期を迎えましょう。

保護者・地域の皆さま、今学期も本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。子どもたちが安全で充実した休暇を過ごせますよう、引き続き温かい見守りをお願い申し上げます。